



議員 柳原市宮住 宅の全面建て替えが変更となり部分改修となるが、42年も経過し室内等の傷みもかなり激しい。実態調査を行い、平等な改修を行うべき。

都市整備部長 設計はこれから、改修に合わせて、当然傷みが激しい所に関しては状況も

見ながら配慮していく。議員 柳原住宅、後谷住宅はエレベーターがなく、高齢の方々が苦勞している。エレベーターの設置ができないのであれば、下層階の空き部屋への移転。また、移転する際、求められる原状回復費用の軽減を行ってほしい。



▲5階まで階段で高齢者は大変

花井 伸子 議員

整備と家賃補助の充実を

「ソフト面も含め検討する」

公営住宅

都市整備部長 空き部屋への移転は可能であるが、原状回復費用については研究しながら検討する。議員 低年金者等への住まいの充実として、特養ホーム等への入居費用助成、また、高齢者世帯賃貸住宅家賃差額助成制度等の要件を緩和し充実すべきでは。

その他の質問 Q. 駅喫煙所のトラブル解決のため、透明ボードの設置を。 A. 禁煙マナーにかかわる啓発活動や喫煙場所の管理等を引き続き行い、ボードは他市の事例を参考にしながら今後の検討課題とする。

高齢者支援

介護支援ボランティアポイント制度推進を

「広い範囲での調整が必要と考える」



議員 石川清明 介護支援ボランティアポイント制度

の取り組みについて、一般質問や委員会でも取り上げられているが、その後の進捗状況はどうか。

石川清明議員 的を持って外に出て活動することにより、自身の健康を維持しつつ、心身のリフレッシュが図られ、介護予防や引きこもり予防といった観点から、有効なものであると考える。ポイント制度も一つの手法であり、今後の事業

を進めていく上で、ボランティア活動のあり方など、広い範囲での調整が必要と考える。議員 今後の考え方と課題について伺う。

福祉部長 課題を踏まえ「介護支援ボランティア活動意識調査」を実施し、現在、集計を行っている。結果を分析検討し、さらに研究していく。

議員 買い物弱者を支援するため、タブレットを活用して、ネットスーパーを活用した買い物支援制度があるが、どのように考えるか。

議員 先進事例を参考に、タブレットの有効利用と高齢者支援への活用を研究していく。



▲横浜市が実施する介護支援ボランティアポイント事業「ヨコハマいきいきポイント」 (提供:横浜市健康福祉局介護保険課)

福祉部長 先進事例を参考に、タブレットの有効利用と高齢者支援への活用を研究していく。

一般質問

防災対策

災害用井戸の活用 下戸田に福祉避難所を

「心身障害者福祉センターを活用」



議員 望月久晴 地震時の断水時でも避難所のトイレなどが使えるように、非常用災害井戸と受水槽を配管でつないでおくべきではないか。

議員 下戸田地域は人口が過密で高齢者比率が高いが、福祉避難所がないので整備を。 総務部長 心身障害者福祉センターを有効に活用して高齢者・障害者の避難生活の負担を抑えたい。

議員 利用状況、利用者、市民の意見を調査して、全面的な見直しが必要ではないか。

議員 利用状況、利用者、市民の意見を調査して、全面的な見直しが必要ではないか。

議員 喜沢交番跡地を警察OBなどが滞在できるミニ交番的なもののできないか。 市民生活部長 敷地が狭く、ミニ交番は困難。防犯掲

喜沢にミニ交番を 議員 喜沢交番跡地を警察OBなどが滞在できるミニ交番的なもののできないか。



▲更地になった喜沢交番跡地

一般質問

望月久晴議員

示板や防犯カメラの設置等、町会の意見を聞き検討している。

トコバス運行改善を

議員 利用状況、利用者、市民の意見を調査して、全面的な見直しが必要ではないか。

市民生活部長 時期を見て利用者のアンケート調査を実施し、運行見直しを含め検討する。

その他の質問

Q. 学校施設の老朽化対策は「予防保全型」の管理で長寿命化を図るとしているが、本市の対策は。 A. 校舎耐震は完了し、維持保全改修計画に基づき非構造部材の耐震化を含めた大規模改修を行っている。

Q. 学校施設の老朽化対策は「予防保全型」の管理で長寿命化を図るとしているが、本市の対策は。 A. 校舎耐震は完了し、維持保全改修計画に基づき非構造部材の耐震化を含めた大規模改修を行っている。

Q. 学校施設の老朽化対策は「予防保全型」の管理で長寿命化を図るとしているが、本市の対策は。 A. 校舎耐震は完了し、維持保全改修計画に基づき非構造部材の耐震化を含めた大規模改修を行っている。

手塚 静枝 議員

地域で支える “おたがいさま”ネットワークを

「総合的な見守り体制を構築する」



議員 手塚静枝 高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れる「幸齢社会」の実現が望まれる。それには、地域で支え合う「おたがいさま」のネットワークが重要であり、その仕組みづくりが大事である。民生委員や協力員による「声かけや見守り」の定期的訪問

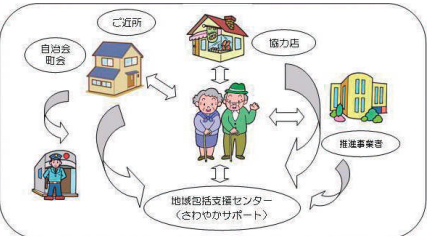
議員 今後の考え方と課題について伺う。福祉部長 課題を踏まえ「介護支援ボランティア活動意識調査」を実施し、現在、集計を行っている。結果を分析検討し、さらに研究していく。

議員 買い物弱者を支援するため、タブレットを活用して、ネットスーパーを活用した買い物支援制度があるが、どのように考えるか。

議員 先進事例を参考に、タブレットの有効利用と高齢者支援への活用を研究していく。

高齢者福祉

福祉部長 先進事例を参考に、タブレットの有効利用と高齢者支援への活用を研究していく。



▲大田区高齢者見守り・支え合いネットワーク (東京都大田区高齢福祉課ホームページより)